

どぼくま新聞

発行/ 熊本県土木部監理課 ☎096-333-2485

一緒に学ぼう!
熊本の土木
(どぼくま)のこと



「どぼくま新聞」とは

「どぼくま新聞」は、私たちの身近なところにあるけれど、あまり知られていない建設業の役割やさまざまな情報について、紹介していく新聞です。



ドローンから送られてきた動画には、学校見学しているみんなの姿も。思わず笑みがこぼれます

県立熊本工業高等学校熊本市中央区) 学校見学会には、県内の中学校から1200人が参加。土木科では、無人で空を飛ぶドローンを使って工事現場の確認をする最新技術の説明が行われました。校庭でドローンを飛ばすと、上空から撮影された動画が送られてきて、地上にある大きな画

ドローンで撮影! 安全でスピーディーな作業に



「建設のことが勉強できる! 工業高校」

～学校見学会に行ってきました～

工業高校では、高校生が「つくる部」の仲間を目指し、勉強に励んでいます。2017年8月22日と23日に行われた県立熊本工業高等学校の学校見学会では、県内の中学生らが校内をめぐり、それぞれの科について学びました。

工業高校のことが分かったモン



人が行けないところの調査などに活躍するドローン



女性が建設機械をさっそうとあやつる工事のようすも見ました



迫力あるパワーショベルの操縦を見学

面で見るのことができません。一昨年の熊本地震で、建物の被害や土砂崩れなどのようすを調べるのに活躍したことがよく分かったようでした。新しい技術によって安全でスピーディーな作業ができるようになったことを学んだり、パワーショベルの操縦見学や建設機械について学ぶミニ授業を受けたり、充実した1日でした。中学生たちは将来の進路を考えるきっかけになったのではないのでしょうか。

「学校見学会」に参加して

最新の測量技術を知り 夢が広がりました

測量は、体力が必要な仕事だと思っていましたが、ドローンを使ったり、パソコンで操作したりと進化しているんですね。女性でも十分に活躍できるんだと初めて知ることができました。将来の夢が広がりました。



森口 杏さん (美里町立中央中学校 3年生)

建設機械の運転資格を取って就職したい!

高校に通っている間に、建設機械の運転資格が取れることにとっても驚きました。興味があることを3年間思いっきり学ぶことができる環境は、素晴らしいと思います。資格を取って、企業に就職したいです。



長田 昂大さん (合志市立西合志南中学校 3年生)

技術を学び、道路をつくる人になりたい

パワーショベルにカメラを取り付け、地形を観察しながら作業をする技術を初めて知りました。ドローンを使い、位置や高さを計算する測量技術にも驚きました。将来は道路をつくる仕事をしたいと考えているので、良い経験でした。



有田 貴哉さん (八代市立八代第二中学校 3年生)

復興を支える力だ! つくる部

家やビル、道路や橋、駅や港などさまざまなものをつくる建設業で働く人たちと、つくることが好きな仲間があつまり、それが「つくる部」です。熊本地震後の熊本を新たに「つくる」ことも、つくる部の大きな仕事。つくる部は、熊本の復興を支えています。

右のQRコードを読み込むと、地震後の復旧・復興のために働く「つくる部」の動画が見られます。



いろいろな会社の人たちに力を合わせてもらい、心強かったです。少しでも早くオープンしたいと願う私たちの要望にこたえてくれた工事の皆さまに感謝しています。(ショッピングセンターより)

より安全で安心できる建物に

熊本地震での被害が大きく、営業できないショッピングセンターがありました。再開に向けて、どのような工事が行われたか紹介します。

- 一度にすべてに取りかかるのではなく、生活に必要な食料品や日用品を売るスーパーをいち早くオープンできるように、順番に工事が進められました。
- 天井からの落下物があつたので、それを取りのぞき、物が落ちにくい構造に作り変えられました。
- 地震改良のくい打ちを行うなど、表に見えない部分にも大きく手が加えられました。

熊本地震でより身近に感じた建設産業の仕事を知ろう

今回のテーマ

くまモン先生のどぼくまの時間

